



# 横浜市 技連協だより

第36号 平成19年12月10日

技連協シンボルマーク  
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは  
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に  
結成されました。

発行 横浜市技能職団体連絡協議会  
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7  
電話 045-681-6639 F A X 045-664-9400

発行責任者 会長 畠山 滋

## ○ 第28回 よこはま技能まつり開催 ○

平成19年9月30日(日)、ハマの職人が一堂に会しての第28回よこはま技能まつり(よこはま技能まつり実行委員長 畠山滋)が横浜公園にて開催されました。

「よこはま技能まつり」は、技連協の一大イベントとして、市内の職人が、長年の経験と研鑽で得た生活一般(衣・食・住等)にかかわる手作業・手仕事の技能を広く市民の方々に「見て」、「体験して」もらうことにより、伝統の技はもちろん「ものづくりの大切さ」「ものづくりの楽しさ」を継承し、実演コーナー・相談コーナー・作品展示直売など技能職振興を図ることを目的とした催しです。今年で28回目を迎え、35団体の参加がありました。

野田由美子副市長はじめ多くの方々が出席される中、オープニングセレモニーが開催されました。鳶工業連合会の皆さんによる木遣りがステージで披露されました。

あいにくの雨にも拘わらず2万人が訪れ、各ブースでは子供たちが泥団子作り・瓦粘土作り・木工製作やオリジナル時計作り等を元気に体験していました。



会長あいさつ



副市長あいさつ

体験  
コー  
ナー



350万市民がごみ減量・リサイクルに挑戦!

ヨコハマはG30

# ハマの職人技が大集合

第二十八回よこはま技  
収益の一部寄託  
まぢかど

## よこはま技能まつりチャリティー収益金を 「神奈川新聞厚生文化事業団」へ

神奈川新聞 平成 19 年 10 月 31 日付



よこはま技能まつりの参加団体からはチャリティー収益金にご協力をいただきました。10月30日(火)、島山会長他三役が代表して神奈川新聞厚生文化事業団を通じて社会福祉のためにチャリティー収益金16万円を寄贈しました。

よこはま技能まつりの参加団体からはチャリティー収益金にご協力をいただきました。10月30日(火)、島山会長他三役が代表して神奈川新聞厚生文化事業団を通じて社会福祉のためにチャリティー収益金16万円を寄贈しました。

ご協力していただきありがとうございます。



能まつり実行委員会(委員長 島山滋・横浜技能職団体連絡協議会会長)が三十日、社会福祉のためにと、十六万円を神奈川新聞厚生文化事業団に寄託した。写真。同実行委は、横浜の市民生活を支える職人の技と心を市民に伝えようと毎年、「技能まつり」を開いている。二十八回目となる今年、九月三十日に横浜公園で、衣食住などにかかわる三十五の技能職団体が参加して開かれた。あいにくの雨で昨年には及ばなかったが、それでも約二万人の市民が来場した。寄託金はその折の収益の一部。島山委員長は「体験教室なども開き、子供たちにもおもしろい、楽しさを体験してもらえたのではないかと話していた。」

## 青年部の活動

**技能まつり** では、当青年部も「ちびっこランド」や「飲食販売」を行いました。今年の「ちびっこランド」は青年部のメンバーの発案による懐かしい「割り箸ゴム鉄砲」工作を行いました。あいにくの天候で子ども達が少なかったのが大変残念でした。

### 四市交流会 (横浜市開催市) 川崎市・藤沢市・富士市

●平成 19 年 11 月 18 日(日) 午後 1 時～午後 5 時

第 1 部：四市技連協青年部意見交換会 — 技能文化会館匠プラザにて —

第 2 部：左官体験 — 横浜市左官業協同組合 Y S ビルにて —

横浜市技連協青年部の主催による四市技連協青年部交流会が開催されました。

第 1 部の意見交換会では各都市とも関連な意見が飛びかい、他都市でも少子高齢化、後継者不足の深刻な現状の中で、部員確保がなかなか難しく、現状維持の状態です。横浜市は、行政改革(指定管理者制度が導入)により事務局が民間に移管されて、受動的であった部分が能動的になり、新しい風が入ってきました。四市とも業種によっては、安いコストや設備投資等近隣のアジア諸国におされ、それぞれの組合に対して努力が必要な昨今です。

第 2 部の左官体験では場所を移し、横浜市左官業協同組合青年部のご指導による壁塗りと泥団子作りを体験して四市異業種交流を深めました。



意見交換



左官体験



参加者の皆様

### 今後の予定

- 青年部講演会 平成 20 年 2 月 15 日(金) 午後 7 時～
- 青年技能者の夕べ 平成 20 年 3 月 2 日(日) 午後 6 時～

# 受賞の喜び

(敬称略)

## 秋の叙勲「旭日単光章」



磯本陽太郎 (理容師)

— 前横浜理容連合会会長 —

私、このたび、はからずも叙勲の栄に浴しましたが、これは言うまでもなく、ご指導いただいた先輩や、ご協力くださった皆様のお陰であります。

わたしが理容業界に入りまして50余年になりますが、好きな仕事で社会に役立つことができることを喜びとして励んでまいりました。

幸いに健康にもめぐまれておりますので、この叙勲に甘えることなく、これからも業界と社会の発展のために尽くしてまいります。

## 現代の名工



山本 秀雄 (和裁師)

— 神奈川県和服裁縫協同組合副理事長 —

ただ、長く和裁師としてやってきた事が、このようにすばらしい章を頂けるなんて本当に夢のようです。祖父や母がやっていたという事と、兄に強く薦められて、この道に進んだお陰です。東京に丁稚奉公として出た7年間は貴重な体験でした。それからひたすら、50余年間、和裁師として長くやらせていただきました。

まずは、この喜びをご指導いただいた諸先輩方はもちろん、私をこの世に送り出してくれた両親や先祖の皆様、これまでに、私を支えてくれた皆様々に感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



関野美三夫 (建築大工)

— 日本建築大工技能士会会長 —

この度、平成19年の「現代の名工」という卓越技能章を授かりまして、大変名誉に存じております。この栄えある章は、私一人だけの章ではありません。今まで長い間ご指導、ご協力いただきました諸先輩の皆様方のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

今後はこの名誉を汚さぬように更に精進を重ね、健康に留意して、60有余年培った匠の技を後継者指導育成に傾注し、ご恩返しを行い、建築大工技能士の社会的地位向上に貢献をしたいと思っております。

## 平成19年度 横浜マイスター決定



阿部 忠悦 (あべ ちゅうえつ) 洋服裁縫師

仕立ての難しいタキシード、燕尾服の裁縫得意としている。婦人用スーツなども独自の技で研鑽し、縫い目が浮かない、型崩れしない技法を持っている。(横浜市瀬谷区在住 テーラー丸忠)

— 神奈川県洋服商工業協同組合 —



荒川 昭男 (あらかわ あきお) 造園

和風庭園の作庭に、時代の変化に対応した新技法を取り入れている。庭園の作庭技術や知識をいかして地域活動も積極的にやっている。

(横浜市緑区在住 有限会社庭工荒川)

— (社)神奈川県造園業協会 —

## 平成19年度技能功労者・優秀技能者を表彰



國峯 伸之

平成19年11月8日(木)、第41回横浜市技能功労者・第39回横浜市優秀技能者の表彰式、及び横浜市技能職者奨励賞の贈呈式が横浜市技能文化会館多目的ホールで開催されました。当日は、技能功労者72人、優秀技能者76人(P4、P5参照)、技能職者奨励賞1人が表彰されました。

平成19年度から横浜市が始めた「横浜市技能職者奨励賞」が第24回技能グランプリの1位を獲得した印章彫刻士の國峯伸之氏に贈呈されました。

市長の代理として野田由美子副市長から技能功労者・優秀技能者・技能職者奨励賞受賞者に、表彰状の授与と市長からのメッセージの披露がありました。併せて、横浜市が今年度より始めた一技能職者育成事業補助金交付対象事業一に横浜表装インテリア協会の「YHIフェスタ」が選ばれました。

(横浜市技能職者表彰事業とは)

横浜市内の若手技能職者として功績が顕著な方を対象に、今後の活躍を期待して、「技能職者奨励賞」(川上賞)を贈呈する表彰事業です。この事業は、市内技能職者の社会的評価及び技能の向上を図ることを目的として行われる「横浜市技能職者育成奨励事業」の一環で行われる事業です。



# 横浜市技能功労者の皆様

〈横浜市技能功労者表彰とは〉

永く同一の職業に従事し、功労顕著な技能職の方々を対象に、個人の持つ極めて優れた技能と、他の技能職者への模範となり、指導的な立場にある方を称えるために設けられた制度です。

敬称略

☆受賞職種 30 職種 ☆受賞者 72 人

石 工 鈴木 誉 久	造園技能士 佐藤 幸 一	板金技能士 沼田 郁 夫
石 工 座間 恒 一	造園技能士 山田 久 雄	板金技能士 萩原 茂 男
印章彫刻士 森元 龍 作	畳工技能士 町田 春 男	板金技能士 内田 健次郎
花卉装飾 岩崎 正 一	畳工技能士 中村 紀 男	美容師 小高 幸 雄
花卉装飾 田中 勇 三	畳工技能士 上野 二三雄	婦人服裁縫師 長井 梢
型枠大工 斉藤 正 雄	建具職 新藤 幸 男	婦人服裁縫師 宮原 雅 恵
看板製作士 三村 嘉 延	建具職 佐々木 喜 久	洋服裁縫師 田中 利 明
看板製作士 高橋 秀 機	調理師 水島 勝 三	浴槽設備技能士 竹内 正 治
建築大工 岩谷 昭 二	調理師 大林 義 行	理容師 大木 一 夫
建築大工 森内 光 明	調理師 鶴岡 和 夫	理容師 志村 一 男
塗装技能士 新保 皓 三	電気工事士 吉田 雅 之	理容師 村野 正 子
建築大工 小林 勢太郎	豆腐製造業 有坂 洋	理容師 松田 眞 昇
配管技能士 日比野 和 男	豆腐製造業 小川 啓 治	理容師 青木 信 也
電気工事士 高村 雄 一	豆腐製造業 斧渕 七 郎	理容師 下館 啓 介
建築大工 横溝 仁 志	時計修理技術者 鯉渕 明	ワイシャツ加工 本間 久 允
鳶 職 三上 德 三	時計修理技術者 奥田 康一朗	和裁師 金子 初
建築大工 山本 典 乙	塗装技能士 田邊 周 二	和裁師 尾崎 は な
左官技能士 内田 守	鳶 職 青木 勝	調理師 原 進 三
左官技能士 川村 貞 雄	鳶 職 矢坂 久	調理師 長 須和子
左官技能士 稲目 常 吉	鳶 職 石澤 洋 男	スクリーン印刷 福本 正 一
写真師 田代 稔	鳶 職 佐藤 清 二	
製菓技術師 古屋 幸 雄	配管技能士 麻生 清	(順不同)
染物洗張 松下 俊 次	配管技能士 木村 公 昭	
染物洗張 牧野 廣 一	配管技能士 本田 正 弘	
造園技能士 男全 巖	鍼・灸・マッサージ師 竹中 德 子	
造園技能士 吉田 志 郎	鍼・灸・マッサージ師 土屋 勉	

# 横浜市優秀技能者の皆様

〈横浜市優秀技能者表彰とは〉

同一の職業に従事し、その職種を中心となって活躍している技能職の方々を対象に、個人の持つ優秀な技能と、他の技能者への模範となる方を称えるために設けられた制度です。

敬称略

☆受賞職種 27 職種 ☆受賞者 76 人

石 工 神 子 勉	左官技能士 山 下 忠 広	鳶 職 加 藤 聡 一
石 工 馬 上 貴 樹	左官技能士 岡 野 孝 一	配管技能士 手 塚 亘
石 工 間 邊 昭 夫	写 真 師 大久保 昌 生	配管技能士 村 田 俊 治
花 卉 装 飾 石 川 敏 雄	造園技能士 中 山 敏 成	配管技能士 中 里 聡
花 卉 装 飾 永 塚 慎 一	造園技能士 松 尾 真 吾	配管技能士 安 井 淳 雄
型 枠 大 工 野 坂 弘	造園技能士 石 井 勝 広	鍼・灸・マッサージ師 松 野 徹
型 枠 大 工 新 貝 忠 孝	造園技能士 吉 川 裕 康	鍼・灸・マッサージ師 中 川 久 茂
型 枠 大 工 相 原 秀 夫	畳工技能士 坪 川 孝 一	板金技能士 立 脇 義 晴
ディスプレイ業 横 田 滝 久	畳工技能士 金 子 彰	板金技能士 松 永 博 文
看板製作士 平 井 寛 雅	畳工技能士 吉 野 裕 一	板金技能士 海 藤 芳 則
着 付 士 綿 貫 美 恵	調 理 師 大 川 和 彦	美 容 師 土志田 恵
着 付 士 内 藤 雅 美	調 理 師 稲 垣 達 也	理 容 師 田 澤 直 樹
クリーニング師 瀬 島 隆	調 理 師 小 林 明 生	理 容 師 高見澤 洋
室 内 装 飾 笹 原 保 夫	調 理 師 本 間 至	理 容 師 保 科 敏 行
建 築 大 工 小 島 清	調 理 師 光 下 豊 信	理 容 師 吉 澤 孝 弘
建 築 大 工 松 野 浩 幸	調 理 師 前 嶋 和 幸	理 容 師 宇田川 悟
サッシ施工技能士 今 井 伸 治	調 理 師 山 口 昭 則	理 容 師 宮 崎 達 也
建 築 大 工 大 關 隆	調 理 師 飯 島 和 則	理 容 師 伊 藤 幸 義
土 木 職 大 内 雅 人	電 気 工 事 士 雨 宮 正 直	理 容 師 中 村 義 明
建 築 大 工 渡 辺 貴 浩	電 気 工 事 士 田 辺 清 郎	理 容 師 水 島 猛 一
建 築 大 工 逸 見 貴 徳	豆腐製造業 関 亨	理 容 師 小 島 健 司
タイル技能士 森 元 英	眼鏡調整士 須 江 聖 志	調 理 師 岩 崎 裕
建 築 大 工 加 持 不 二 夫	鳶 職 武 川 昌 弘	調 理 師 阿 部 道 夫
建 築 大 工 飛 川 謙 二	鳶 職 永 田 裕 一	スクリーン印刷 井 上 好 信
左官技能士 後 藤 典 明	鳶 職 秋 本 治 久	
左官技能士 遠 藤 誠 一	鳶 職 長 崎 昌 弘	

(順不同)

## 職人から学ぶ講座（受講生の声）

### ◆「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作りパート1」

平成19年8月5日—横浜豆腐商工業協同組合—

- ていねいなご指導で感謝いたしました。
- 豆腐のにおいがあまく、口にするととてもおいしかった。
- 作る作業は大変でしたがとても勉強になって、おぼろ豆腐なら作れそう！と思いました。
- 自分でも豆腐が作れることに感動しました。

### ◆「時計屋さんから学ぶ親子時計作り」

平成19年8月25日—横浜時計眼鏡金属小売商組合—

- 時計の作りかたの勉強になった。
- 時計に針をつけるのが楽しかった。
- イラストをかくのがおもしろかった。
- 文字板に絵をかいたり、組み立てるのが楽しかった。

### ◆「板金屋さんから学ぶ親子表札作り」

平成19年8月26日—横浜市板金組合連合会—

- どのようにして表札ができるか分かって楽しかった。
- 表札を布でふくのが楽しかった。
- 銅板をみがいたり、名字をなぞったりするのが、楽しくて面白かった。
- むずかしかったけど、じょうずにできてよかった。

### ◆「プロから学ぶ中国料理」

平成19年9月19日—神奈川県中日調理師会—

- 解りやすかった。家で作ろうと思います。
- 仕事、休みをとって参加したかいがあり、さっそく作ってみたいと思います。
- プロのコツがはしはしに開けて参考になりました。
- オブラートの包み方（?）、えびのまぜ方をよくみせてもらえた。切り方、蒸し方等、大変参考になりました。

### ◆「プロから学ぶネイルアート」

平成19年9月11日—横浜市美容組合連絡協議会—

- 初めてやりましたが、難しかった。時間が足りなかった。でも、大変楽しかった。
- いつでも質問できる雰囲気とても楽しかった。
- すぐに実践できるネイルアートを教えていただき、ありがとうございました。
- 手元が若返りました。機会がありましたら、又、参加したいと思います。

### ◆「プロから学ぶおしゃれなカクテル作りパート2」

平成19年10月21日—横浜市社交飲食喫茶技能連合会—

- 初めてのジャンルで大変参考になりました。講師のていねいな説明が好印象でした。
- 基礎的なことから学べて大変勉強になりました。プロとの、味にこんなに差が出るとはおどろきでした。
- 時々むかケテルの作り方がこんな風に作法も大切なのだとよく分かりました。おいしくてみばえもいいのがよいですね。

### ◆「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」

平成19年10月28日—（社）神奈川県塗装協会—

- 基本を学んだ事。ペンキのぬり方の知識がふえました。
- 興味があるので年に数回お願いします。
- 実技の合間合間に講師から出る様々なヒントがとても役に立ちました。
- ポイントが分かってよかった。さっそく家にかえて、活かしてみたいと思います。
- ペンキのワンポイントアドバイス、多々説明をうけてよかった。（①ハケの使い方②ペイントのハケの切り方等）

### ◆「婦人服裁縫師から学ぶオーバーブラウスの縫い方」

平成19年9月21日～11月9日 全8回

—神奈川県洋装組合連合会—

- パンツ（ズボン）も教えていただきたい。
- 夫婦で参加出来るような講座があれば良いなと思いました。
- 近頃、洋裁の本を見ても、かこみ製図が多く、使い方がよく解りません。かこみ製図の起こし方を学びたいです。
- ミシンが職業用なので、ほどくことが多く、家庭用ミシンがあればと思います。

### ◆「プロから学ぶ手結び着付け入門」

平成19年10月24日～11月28日 全6回

—全日本みやうち着付士技能者の会 横浜支部—

- 少人数でしたので、大変ていねいに教えていただきました。
- まだまだ、着物を着るといことは難しいですが、この講座で着物に興味をわきました。
- 着物に関する「茶道」「生け花」の日本独特の文化を学べる講座があれば、ぜひ受講したい。
- 我流で着ていたのですが、要所のコツが分かり、本当によかったです。とても楽しかったです。

※アンケートの一部を掲載させていただきました。

## 職人から学ぶ講座 — 今後の予定 —

- 「プロから学ぶ洋菓子作り」  
— 横浜市洋菓子協会 — 1/13（日）
- 「婦人服裁縫師学ぶベストとズボンの縫い方」  
— 神奈川県洋装組合連合会 — 1/18～3/7（金）全8回
- 「花屋さんから学ぶお祝いのフラワーアレンジメント」  
— 神花協横浜地区生花商協議会 — 2/24（日）
- 「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作りパート2」  
— 横浜豆腐商工業協同組合 — 3/23（日）
- 「経師屋さんから学ぶおしゃれな色紙立て作り」  
— 横浜表装インテリア協会 — 3/30（日）

## 各団体の活動報告

### ■第10回横浜マイスターまつり開催

平成19年11月18日(日)、横浜産貿ホールで、第10回横浜マイスターまつりが開催されました。

横浜マイスターまつりは、技能職の後継者育成及び技能職の社会的評価の向上を図ることを目的として開催されており、今年で、ちょうど10年目になります。今回は33人の横浜マイスターが盛大に、卓越したすばらし技能を披露し、体験コーナーでは、道具を実際に使っての「技能体験教室」を開催し、ものづくりの楽しさ、大切さなどを熱心に指導していました。



まつり風景

### ■みのりの箱募金 —— 神奈川県クリーニング生活衛生同業組合 理事長 小岩政次

文化放送と全ク連、関東1都6県の組合(東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、茨城、栃木)が展開している「クリーンライフみのりの箱」の22回目となる贈呈式が9月28日(金)厚生労働大臣室にて行われました。

昨年の9月1日からの1年間で集まった浄財300万円を就任直後の舩添要一厚生労働大臣に贈呈しました。贈呈された浄財は、中央共同募金会を通じ、1都6県の社会福祉施設に分配されることとなります。贈呈式では舩添大臣から「福祉に関しては税金だけではなく、このような民間からの善意、自主的な取り組みが何よりも大事」と今後の活動への期待を込めた挨拶がありました。この募金の取り組みは22年目を迎え、今までの浄財の合計は一億四千五百万円を超えています。協力して頂いた組合員には心から感謝を申し上げます。福祉施設の皆さんからも毎年心のこもったお礼状が数々届いています。



舩添大臣に贈呈する小岩理事長

### ■第48回オートクチュール技術フォーラム —— 神奈川洋装組合連合会 会長 鳥澤俊子

平成19年9月1日(土)横浜市職業能力総合開発センターにて標記フォーラム・会員の技能講習会を開催いたしました。着方や材質によっては、フォーマルにもカジュアルにも変化できる楽しい1着の「変わり襟ジャケット」を作製しました。



講習会

# 後継者育成に向けて

「YHIフェスタ」 — 横浜表装インテリア協会 —

会長 不破野 武

「YHIフェスタ」は平成20年3月8日～9日にかけて横浜駅東口そごう前の「新都市プラザ」において、表具・襖・内装等に関して、展示や実演を行います。

単純な展示や実演を行うのではなく、一般の方々へのPRも兼ねて「実演」という形で若手技能職者への技術指導の場になっています。また時代のニーズを捉え、新たな技術・材料・道具などをいかに自分のものとし、お客様に提供できるか日々研修している様子を、一般の皆様に見ていただこうというものです。このような事業をとおして、後継者育成・技能の伝承そして新しい物への対応に努めていくつもりです。皆様、どうぞ見学にお出かけください。

「日々の生活に和の心を」 — 全日本みやうち着付士技能者の会 横浜支部 —

支部長 岩立 かほる

今年も技連協の後援をいただき、技連協会賞も用意させていただきました「全国着付士技能コンクール」が9月23日（祝）に東京有楽町の朝日ホールで盛大に開催されました。

全国での予選を勝ち抜いた80名あまりの選手が、留袖、振袖、男子紋服、創作着付けの4つの部門に分かれ、和服をいかに速く美しく着せ上げるかを競うものです。着付士としてのマナーも審査の対象になり、着付士の技能向上と若手の育成のために始められたこのコンクールは、今年で9回目になります。中央着付士能力開発協同組合が主催、厚生労働省等の後援で毎年実施しています。また、中央着付士能力開発協同組合では、厚生労働省の協力の下に資格試験を実施し、着付けの技能がいずれ「国家資格」になることを目指しています。

自分で着るのが当たり前のような和服の着付けですが、日常生活から消えてしまったような今日、その仕組みや正しい着方を取戻した上で、美しい着物を自由に楽しく着こなす若者が増えることを願って、古来から伝承されてきた大切な日本の文化を若い世代に伝えるために、真摯な気持ちで後継者育成に取り組んでいます。横浜市技能文化会館では、「職人から学ぶ講座」～プロから学ぶ手結び着付け入門～で、我々の日ごろの技能を披露し伝授しております。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



技連協会賞



岩立支部長（手前）入賞

## 技連協の今後の行事

### ◎新春交流会・研修会

日時：平成20年2月1日（金）午後2時から  
会場：ホテル横浜ガーデン

### ◎技連協ボウリング大会

日時：平成20年3月11日（火）  
午後6時15分スタート

会場：新杉田ボウル

※開催の案内・参加申込みは後日各団体に連絡します。



## 編集 後記

「平成9年創刊号技連協だより」発刊から今回で第36号の発行となります。

「横浜市技連協だより」の題字は国峯正美参与の筆耕によるものです。

私は、第29号から編集委員として参加しています。会員の皆様に新風をと思いながら、縦書きの広報誌を横書きに変えたり、何か新鮮なニュースを伝えようと努力しております。各団体の活動報告、業界の動向や、技能の紹介などをしております。

また、技能職者の「喜び」と「すばらしさ」「大切さ」を実感していただくため努力しております。

これからも、この紙面で業界の情報などを更に充実させ、広く市民の方々にも伝え技能職の活動を推進させていきたいと考えております。技能の向上はもちろん様々な分野で躍進させてまいりたいと思います。

これからも、各団体の活動状況など、是非お寄せ下さい。お待ちしております。

編集委員 鳥澤俊子（婦人服裁縫師）

## 事務局から

日頃より、「技連協だより」に、ご協力いただき誠にありがとうございます。各団体でのいろいろなイベントや活動をお寄せいただきありがとうございました。今後とも、皆様の活動状況をFAXでも結構ですので、ぜひ、事務局までお知らせ願います。（TEL 681-6639 FAX 664-9400）